

れました。

登別厚生年金病院は、本市唯一の公的病院として、市民はもとより、近隣市町からも多くの患者を受け入れています。

また、登別温泉は道内外や海外から年間330万人の観光客が訪れる北海道を代表する観光地ですので、観光客が安心して滞在できる環境を保持するためにも、登別厚生年金病院の存続は必要不可欠と考えています。

◎高額療養費の未請求問題

議会においては、特別委員会を設置し、原因究明、再発防止などについて長期間にわたり慎重に審議され報告書としてまとめられたことに對し、深く敬意を表します。

市は、先般、関係職員に対する懲戒処分を行いました。これにより、職員一人一人が与えられた職責を全うするという意識をあらためて認識したものと考えています。

また、損失処理については、市民からの信頼を回復するために職員が一致団結して取り組む姿勢が大切ですので、職員の協力のもとに対応していきたいと考えています。

また、再発防止については、『医療費助成事業に係る高額療養費請求事務等に関する調査特別委員会』の提言、『医療費助成事業に係る高額療養費の一部不適切な事務に関する再発防止検討委員会』の提言を踏まえ、年度内に再発防止策を取りま

めることとしていきます。

本年度は、未請求問題で失った市民からの信頼の回復に向け、『信頼される市役所づくりへの新生元年』と位置付け、その第一歩を踏み出したいと考えています。このため、職員意識の向上を図るための職員研修の抜本的な見直しや事務改善の促進に努めるとともに組織機構のあり方を検討します。

基本的な考え方

- ① 市民力の結集による開かれた行政運営
- ② 産業連携による地域経済の活性化
- ③ 市民の暮らしを大切にしたいまちづくり

基本的な考え方①

市民力の結集による開かれた行政運営

市民との協働のまちづくりを推進するためには、まちづくりに対して多くの市民が関心を持ち、参画することが基本です。

市民一人一人が持っている知識や経験、能力を活用し、人と人とのつながりによるネットワークが大きな『市民力』となります。

また、『市民力』は、市民一人一

人の温かい心であり、使命感であり、熱意であり、魅力であり、郷土愛でもあります。『市民力』は、こうした市民一人一人が持っている力であり、このまちを発展に導く市民の『力』です。

別に、自ら地域に赴き、市民や各種団体の皆さんとまちづくりやまちおこしについて、直接ひざを交えて話し合いができる懇談会を開催し、市政に対する市民一人一人の声や各種団体の声を市政に反映するよう取り組みたいと考えています。

この市民力を結集し、多くの市民が自発的にまちづくりに参画することによって、初めて『市民が主役のまちづくり』が始まります。

こうした市民や団体の声を市政に反映させるためには、これを受け止め、具現化する市職員の意識改革や組織体制の充実・強化が必要ですので、市職員との対話を十分に行い、これまで以上に市民の声を反映することのできる対応能力の向上を図ることに努めるとともに、市民とのまちづくりに関する政策形成の体制を強化するため、『政策推進室』を設置します。

基本的な考え方②

産業連携による地域経済の活性化

本市は、温泉資源をはじめとする多様な観光資源に恵まれるとともに、先達の弛まぬ努力により、日本有数の観光地として発展してきました。



▲昨年度、11地区で開催された地区懇談会

